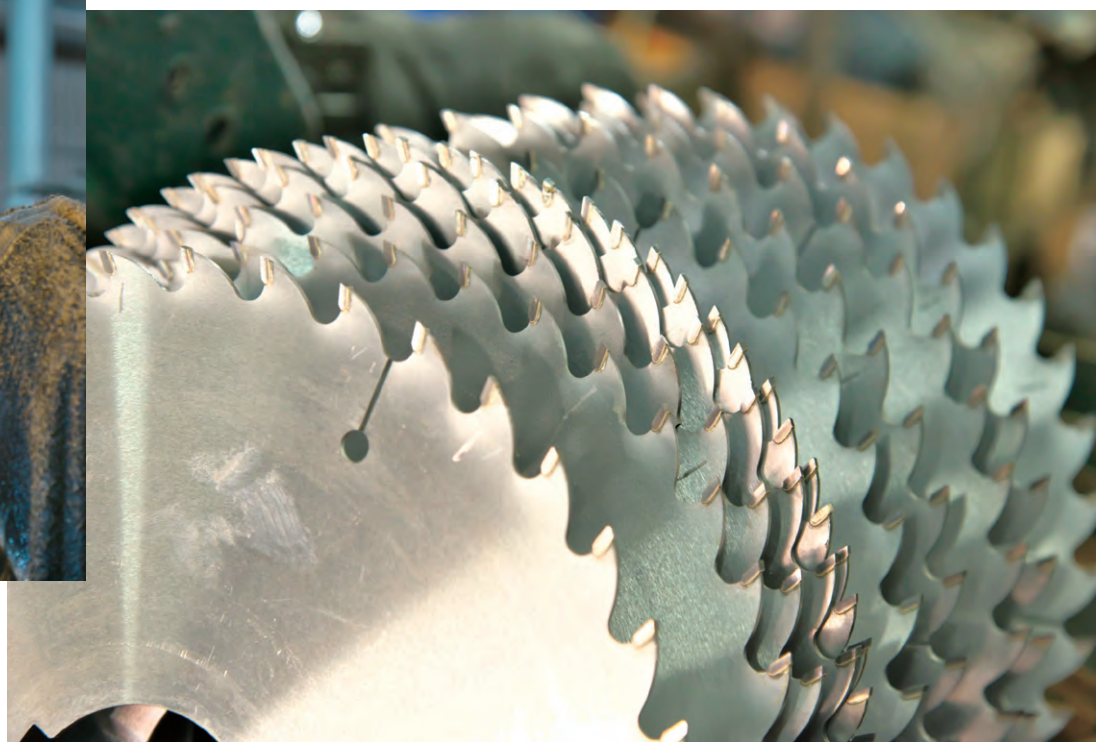
大川刃物工業会

■大川刃物工業会会員の紹介

■大川刃物工業会　会員名簿

（五十音順）

会社名	代表者名	郵便番号	所在地	TEL（大川 0944）	FAX（大川 0944）
旭研磨商会	松本　康彦	831-0016	大川市酒見871−6	88-0380	88-0842
（有）江上ダイ研	江上　義生	832-0089	柳川市田脇2−1	73-0825	73-0884
（有）江﨑産業	江﨑 慎一郎	831-0005	大川市向島1966−7	86-5639	86-5813
大川精工（株）	森田　健司	831-0026	大川市三丸1115−1	87-5510	86-5837
（有）大坪研磨商会	大坪　寛治	831-0021	大川市大橋121	87-0573	89-1159
（有）カバシマ	椛島　與吉	831-0035	大川市津593−4	86-3009	86-3063
（有）ダイヤ商事	江口　　晃	831-0004	大川市榎津111−16	87-2567	87-2679
高田整鋸所	高田　　恒	831-0016	大川市酒見577−10	87-3861	87-3861
（有）タジマックス	田島　裕子	831-0028	大川市郷原432−1	87-8159	86-4794
ヒカリハイテック（株）	中谷　信弘	831-0006	大川市中古賀220−3	87-4028	87-4029
（有）福山機工／（有）ミヤマ	福山　貴志	831-0021	大川市大橋263−1	87-6347	87-6174
ユニオンパーツ（株）	津村 洋一郎	831-0005	大川市向島1540	87-0765	87-1562



それぞれの刃物に最適な再研磨で お客様の信頼に応えていきたい。

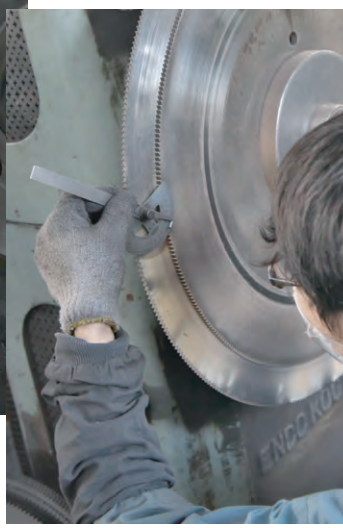
旭研磨商会

旭研磨商会
所在地／〒831-0016
福岡県大川市酒見867-1
代表者／松本 康彦
TEL0944-88-0380
FAX0944-88-0842
[URL]
[E-mail]
創業／昭和53年
従業員／ 4名
営業時間／ 8:00～18:00
定休日／第2土曜、日祝日

大川市の木工所、家具メーカーなどを中心に刃物の再研磨と製造販売を行なっています。刃物にはそれぞれの木工所などの使い方によって、クセが出ます。一つひとつの刃物を見て、そのクセを確認してどういう研磨が最適かを考えながら仕上げていきます。しかも、そのほとんどが手研ぎなのです。刃物の目を見て、使い減り具合や材質などに合わせて研ぎ具合を決めるため、まったく同じ研磨にはならないのです。そんな細かく丁寧な仕事をしながらも、集荷から研磨、そして配達までを丸1日で行なう早い仕事もお客様に高く評価されています。「お客様の信頼に応えることで、長年おつきあいさせていただいていると思います。特殊な刃物以外は、預かって翌日には納品するという体制を整えています」と松本澄男代表。
研磨作業歴20年以上のベテラン研ぎ師が、お客様の求める切れ味を提供するために日々努力しています。これからも刃物の再研磨、製造などを通して、大川の物作りに関わっていきます。

TOP VOICE

第一に考えているのは、お客様から求められている納期に対応していくことです。再研磨の場合は研ぎ具合、刃物製造の場合は切れ味と耐久性などに満足していただける高い品質を目指しています。刃物は摩耗するものですが、再研磨で切れ味が蘇ります。これからも材質や刃物に最適な再研磨を心掛けていきます。



半世紀かけて研ぎすました技術と、丁寧な仕事で刃物を生かします。——有限会社 江上ダイ研

有限会社 江上ダイ研
所在地／〒832-0089
福岡県柳川市田脇2-1
代表者／江上 義生
TEL0944-73-0825
FAX0944-73-0884
創業／昭和41年
設立／平成2年
資本金／ 300万円
従業員／ 4名
営業時間／ 8:00～17:00
定休日／第2土曜、日祝日

木工用刃物はもちろん、大川・柳川エリアでは数少ない鉄工用刃物の再研磨ができるのが特長です。この他、新しい刃物の設計販売も行なっています。
研磨はどれも同じように思われますが、機械で使われた刃物の消耗度はそれぞれ違います。そのため研磨を依頼された刃物の状態を1枚1枚、人の目で確かめてどう研磨するかを決めます。「最後まで使ってほしいですからね。だから、その刃物にとって一番いい研ぎ方をして納品します」と代表者の江上義生さん。時には、すり減った刃物を別の機械に転用して使用することをアドバイスするといいます。それは、「長年付き合ってきているお客様と一緒に成長していきたい」という思いがあるから。自分たちの利益を追求するだけでなく、お客様の利益も考えるという思想が創業当時から根付いています。
それぞれの刃物を生かすも殺すも研磨次第。そのことを十分に承知しているから、約50年の経験を基に研ぎ上げる。その熟練した技術があるから半世紀もの長きにわたってお客様が耐えないのです。

TOP VOICE
新しい意見も取り入れながら、鉄工用の刃物研磨や刃物製造の幅をより広げていきたいですね。ウチは技術をウリにしていますから、お客様から「よく切れる」と言われることにやりがいを感じます。これからも丁寧な仕事を続けて、最後まで刃物を使い切ってもらえるようにしたいですね。

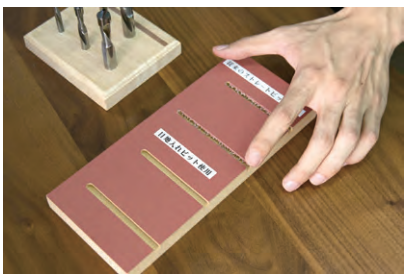
若い感性と大川で培った技術と経験で、新しい刃物を作り出します。

有限会社 江﨑産業

有限会社 江﨑産業
所在地／〒831-0021
福岡県大川市向島1898-5
代表者／江﨑 慎一郎
TEL0944-86-5639
FAX0944-86-5813
[URL]http://www.esaki-sangyo.com/
[E-mail]info@esaki-sangyo.com
創業／昭和43年
設立／平成2年
資本金／ 1000万円
従業員／6名
営業時間／ 8:00～17:00
定休日／第2・4土曜、日祝日
業種／機械用刃物製造、研磨、販売

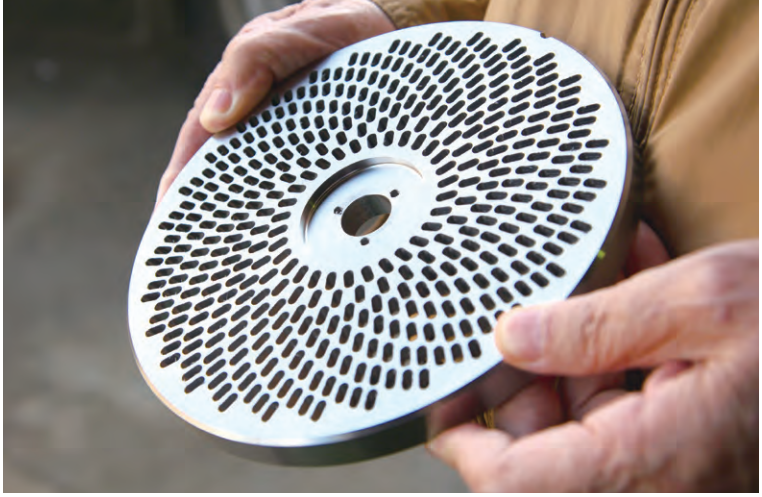
江﨑産業は、機械用刃物の製造／販売／再研磨業を営む会社です。
福岡・佐賀エリアでは木工機械用刃物の販売、再研磨サービスを中心に、また得意とするスパイラル刃物の製造では建材メーカーを筆頭に、プレカット工場、木工所、建具屋と数多くの企業様と取引しています。
その中でも看板商品となるが、特許を取得したフラッシュドア額抜専用刃物『ソリッドフラッシュビット』です。木加工で大敵とされるバリが、この刃物を使うことで解消されます。それに加え、切り口が美しく、高い耐久性を誇ります。その品質の高さは全国建具展

示会での継続的なPRから徐々に認知されていきました。
そんな江﨑産業の刃物に惚れ込んだ企業は多く、全国各地から注文が入る程で、それぞれのお客様のリクエストに答えたオーダー刃物も数多く手掛けています。
3代目の江﨑慎一郎代表取締役は、経歴は浅いですが、若手ならではの既成概念にとらわれない考え方で、様々なことに積極的にチャレンジされています。若い感性と大川で長年培ってきた江﨑産業としての経験と技術が融合され、「よく切れ、使いやすく、長く使える」刃物を作り、お客様の信頼を得ています。



TOP VOICE

アットホームな雰囲気の事務所で、「愚直に、真面目に、コツコツと」をモットーとしています。フットワークの軽さを活かして、大川近辺を日々飛び回っております。この道一筋の職人達が真心込めて製造、再研磨した刃物をお届け致します。



木工用刃物の技術を応用し、質の高い海苔加工を刃物で実現。

大川精工 株式会社

大川精工 株式会社
所在地／〒831-0026
福岡県大川市三丸1115-1
代表者／森田 健司
TEL0944-87-5510
FAX0944-86-5837
[URL]http://www.okawaseiko.com/
[E-mail]okawaseiko@yahoo.co.jp
創業／昭和47年
設立／平成15年
資本金／ 1000万円
従業員／ 5名
営業時間／ 8:00～17:00
定休日／日祝日

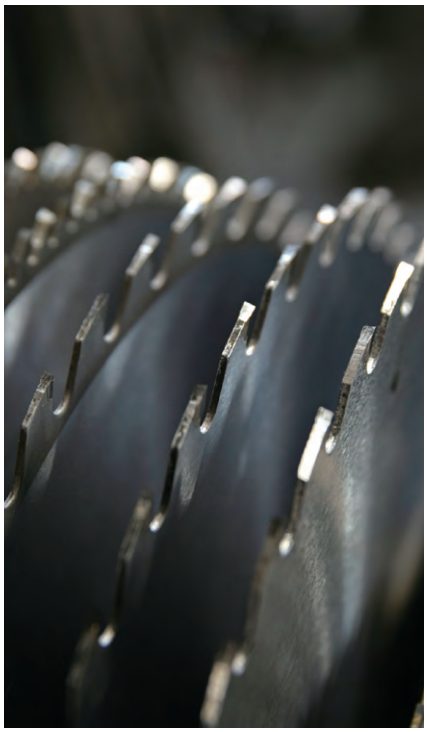
大川市で木工機械用刃物研磨を専門とする会社として昭和47年に創業を開始した大川精工。研磨の経験を重ねると同時に、その技術を生かして木工の刃物をはじめ、海苔加工機械用の刃物の製造も行なうようになりました。そして、平成24年に実用新案登録には認定された「傾斜切り刃」と「受け刃」を開発したのです。この刃物は、海苔の繊維をつぶすことなく裁断でき、海苔の等級向上に大きく寄与しました。大川精工で生み出した刃物は、平成27年に経済産業省地域資源活用事業の認定を受けたほど高い技術が注ぎ込まれているのです。

木工用刃物の製造では長年積み上げてきたノウハウを生かして、少量からでも製作し、短期で納品するよう心掛けています。また研磨は職人が、刃物1枚1枚の状態を見極めて、元の切れ味を取り戻すために丁寧な手作業を中心に行なっています。

家具の街・大川で磨いた刃物の技術を継承しながら、一方でその技術を海苔の分野に応用して、刃物を通して地域の産業を盛り上げている企業です。

TOP VOICE

海苔加工機械用刃物は有明海沿岸をメインにしているのを全国展開していきたいと考えています。これまでどおり、お客様のリクエストやニーズにしっかりと応えること、新しい提案なども含めて新しい刃物作りにも積極的に取り組んでいくつもりです。少量多品種の要望にもお応えいたします。（森田会長）

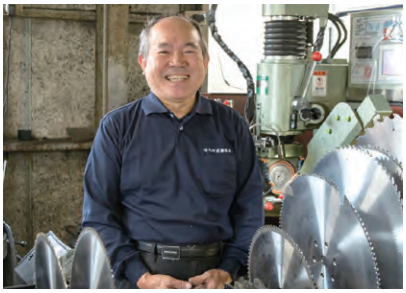


機械や素材に合わせた刃物作り。お客様のニーズに臨機応変に対応します。

有限会社 大坪研磨商会

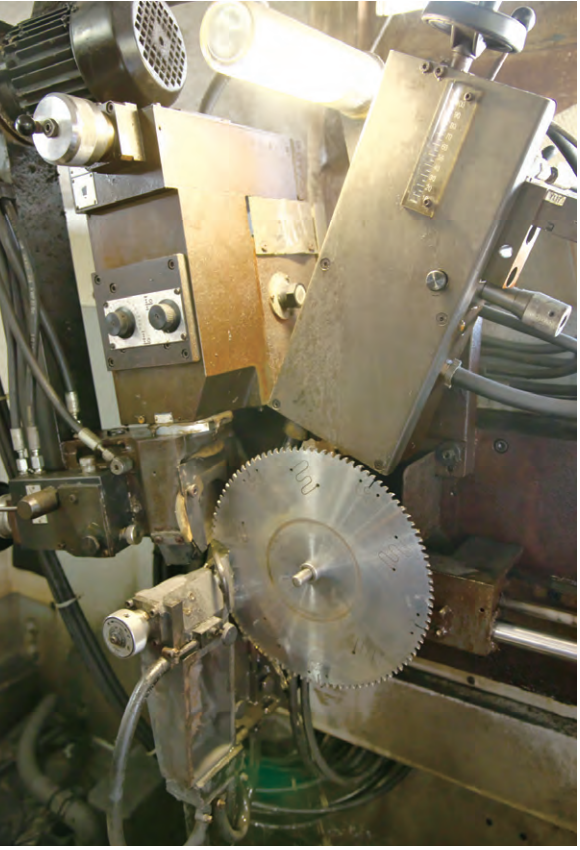
有限会社 大坪研磨商会
所在地／〒831-0021
福岡県大川市大橋121-3
代表者／大坪 寛治
TEL0944-87-0573
FAX0944-89-1159
[URL]http://ootsubo-kenma.com/
[E-mail]ootubo-kenma@sky.hi-ho.ne.jp
創業／昭和49年
設立／平成元年
資本金／ 300万円
従業員／ 3名
営業時間／ 8:30～18:00
定休日／第2土曜、日祝日

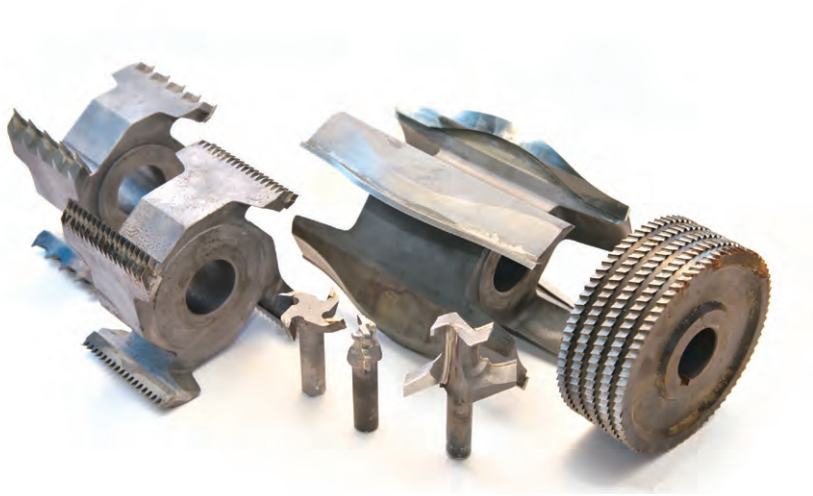
木工や建材用の刃物の研磨からスタートし、今ではポリプロピレン、FRPなど各種樹脂用の刃物を手掛けています。樹脂用のキャリアだけでも30年を誇ります。
刃物と言っても、その種類・用途はさまざまです。多種多様に揃う刃物の中から、経験を生かしてお客様のニーズに合った刃物を提



TOP VOICE
今後はルーターなどや鋸関係を手掛けながら、エンドミルを主体とした製造販売を行なっていきたいと思っています。お客様の要望に応える刃物を作り続けることが私たちのやりがいです。機械や素材に適した刃物を使うことが、品質向上やコスト削減にもつながっていくと考えています。

供いたします。もちろん、新たな刃物の設計製作も行なっています。納期もお客様の要望に合わせて臨機応変に対応していますので、ご相談ください。
刃物は作って、納品したら終わりではありません。刃物の性能を余すことなく発揮するためには研磨も重要になります。定期的な研磨をすることで刃物は切れ味を取り戻し、最後まで活躍できます。簡単に買い替えるのではなく、再研磨することでコストダウンなエコにもつながるのです。使い続ければ、摩耗や刃こぼれも起きます。そのような場合、超硬チップによるろう付けで新品同様の切れ味を取り戻すこともできます。刃物のことでお困りなら、ぜひお問い合わせください。一緒に最適な策を探していきましょう。





大川の発展のために、40年以上の経験を生かした刃物を作る。——有限会社 カバシマ

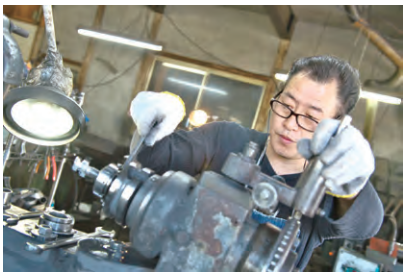
有限会社 カバシマ
所在地／〒831-0035
福岡県大川市津593-4
代表者／椛島 興吉
TEL0944-86-3009
FAX0944-86-3063
[URL]
[E-mail]
創業／昭和47年
創立／平成4年
資本金／ 300万円
従業員／ 4名
営業時間／ 8:00～18:00
定休日／第2土曜、日祝日

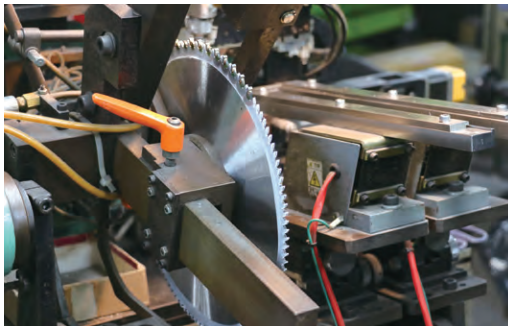
家具から建具、さらには建材までの木工用加工機械刃物のNC加工製造と研磨を中心に展開している有限会社カバシマ。お客さんの使いやすい刃物を提供したいからと、綿密にコミュニケーションをとって、細かい要望にまで応えています。家具メーカーから切り口などの相談を受けた際は、どういった形状の刃物にすれば、求められる切り口に加工できるかをアドバイスしながら刃物の形状を決めていきます。お客さんの要望に応え、そこで養った技術を次の機会に返していく。そうしたノウハウが40年以上の蓄積としてあるため、アドバイスは的確です。だから、多くの家具メーカーなどから信頼されているのです。

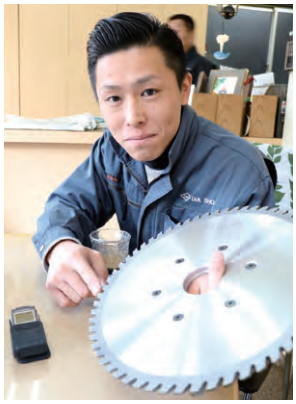
「大川の技術向上の為に他の刃物メーカーさんとも情報交換はしますよ。教えることが家具の発展にもつながりますから」と探求心を持ち続ける代表取締役の椛島興吉さん。より良い刃物を作るために、家具の構造もしっかりと勉強されています。新たな刃物の開発のために試行錯誤を繰り返しながら、家具の街・大川がより発展するために努力を惜しみません。

TOP VOICE

これからは大川市外にも展開していきたいですね。お客さんからリクエストにしっかりと応える刃物はもちろんですけど、より使いやすい刃物を提供したいと考えています。そして、これまで蓄積した技術を使って、新たな刃物を独自で開発していきたいと思っています。







お客様からの「良かった」の一言のために、ミクロン単位にこだわった付加価値のある商品を。——有限会社 ダイヤ商事

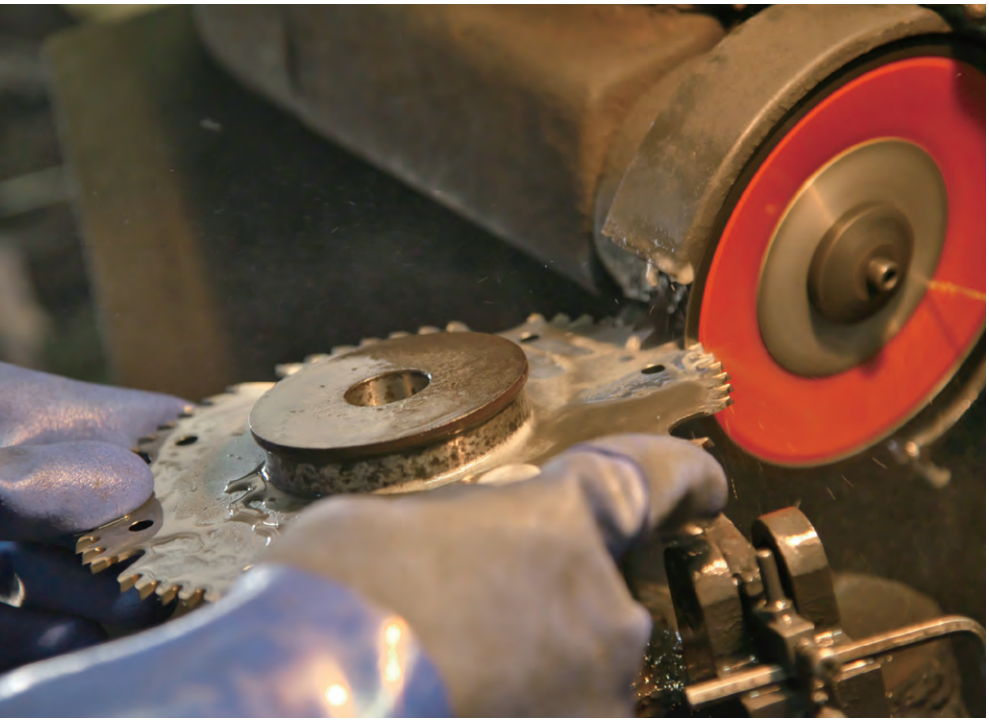
有限会社 ダイヤ商事
所在地／〒831-0004
福岡県大川市榎津111−16
代表者／江口　晃
TEL0944-87-2567
FAX0944-87-2679
[URL]http://www.dia-shouji.co.jp/
[E-mail]diashoji@bronze.ocn.ne.jp
創業／昭和39年10月10日
設立／昭和52年5月2日
資本金／ 700万円
従業員／ 14名
営業時間／ 8:00〜17:00
定休日／日祝日、第2、4土曜

ダイヤ商事は、総合刃物の販売・製作・研磨の専門会社で、昭和39年の創立以来の実績と伝統を誇る一級 超硬刃物研磨工場です。完全受注生産で創業当時から、積極的に工業用刃物の技術向上を探求。常に新しいことにチャレンジしてきました。

特に社名が示す通り刃先には、耐久性に優れたダイヤモンド材質を採用、従来の超硬製品に比較して約20倍から50倍もの長寿命を達成し、企業のランニングコストの大幅な削減に貢献しています。しかし、特筆すべきは、徹底した検査体制にありました。ミクロン単位の精度を出すために最先端技術を駆使して刃先にこだわり続けます。このこだわりが、大川から全国を相手にする企業へと成長させます。

今では家具用の刃物だけでなく、未来を切り開くための様々な分野のパーツを削り出す刃物までも世に送り出しています。さらに、徹底したメンテナンスから消耗部品等の配給までの充実のサービスによりとても高い信頼をお取引先と築いているのだそうです。今後も刃物への情熱と可能性を求め、製作及び販売をすすめていくそうです。

TOP VOICE
「簡単なところから一歩ずつではなく、最初に難しいテーマにチャレンジする」が私のモットーです。人がやらないことをやるからこそ、自分で自信を持って営業してまわれます。その製品が採用されなくても高い技術は必ず相手を説得してくれます。



半世紀かけて研ぎすました技術と、丁寧な仕事で刃物を生かします。

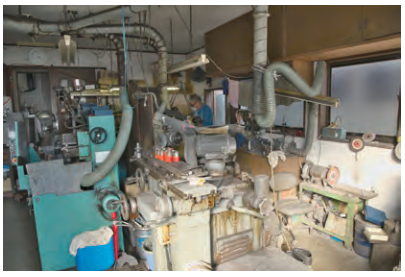
高田整鋸所

高田整鋸所
所在地／〒831-0016
福岡県大川市酒見577-10
代表者／高田 恒
TEL0944-87-3861
FAX0944-87-3861
[E-mail]takada5150@yahoo.co.jp
創業／昭和43年
従業員／ 1名
営業時間／ 8:00～17:00
定休日／第2・4土曜、日祝日

大川市内の家具メーカーを中心に刃物の再研磨と販売で取引を続けている高田整鋸所。午前中に角取引企業を回って研磨する刃物を受け取り、午後に研磨。そして翌日午前中に納品するという迅速さがモットーです。

それだけでなく、受け取り時に直接お客様の細かいリクエストを聞き、それに確実に応える技術の高さも評判です。例えば、高さ20mmの刃を19.8mmにしてほしいというリクエストにも応えているそうです。

「お客様の使い勝手がさらに良くなるよう



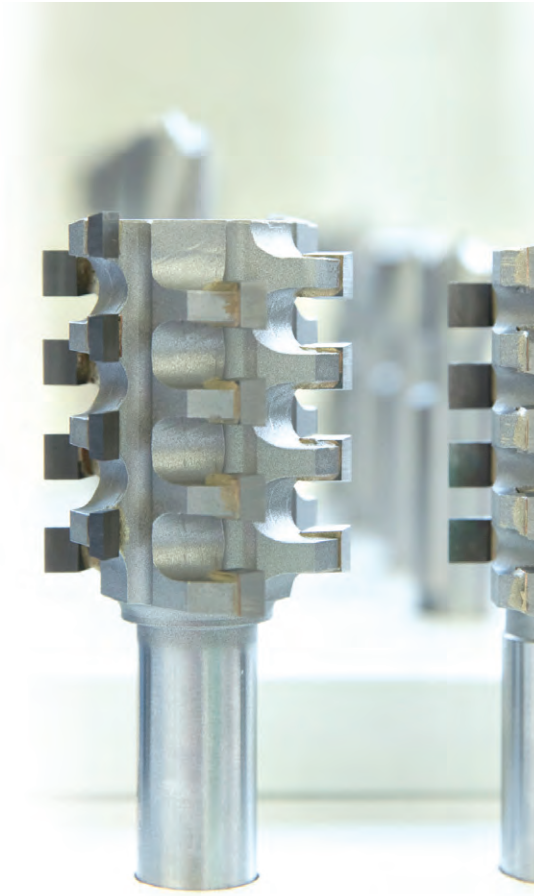
に対応しますよ」と2代目の高田恒さん。

ローター（丸鋸）は1/100mm単位で仕上げる自動研磨で行い、ダボ切り用の刃物は手研ぎで行なうなど、刃物に合わせた研ぎ方で丁寧に仕上げていきます。それだけでなく、お客様が使用されている機械のクセなども考えながら研ぐといいます。

先代から受け継いだ高い技術で、付き合いの長いお客様からの信頼も得ている2代目。コミュニケーションを大切にして、素材や消耗度に合わせた研ぎ具合で、お客様のリクエストに細かく応えていきます。

TOP VOICE

機械に任せるだけでなく、刃の消耗から機械のクセを考えて研磨することが大事です。今後は木工用以外の刃物を扱っていき、機械に最適な刃物の提案もさらにやっていく予定です。それと同時に「すぐ来て」と言われたら、駆けつける機動力の高さも保ちたいと思います。刃物のことなら何でも聞いてください。



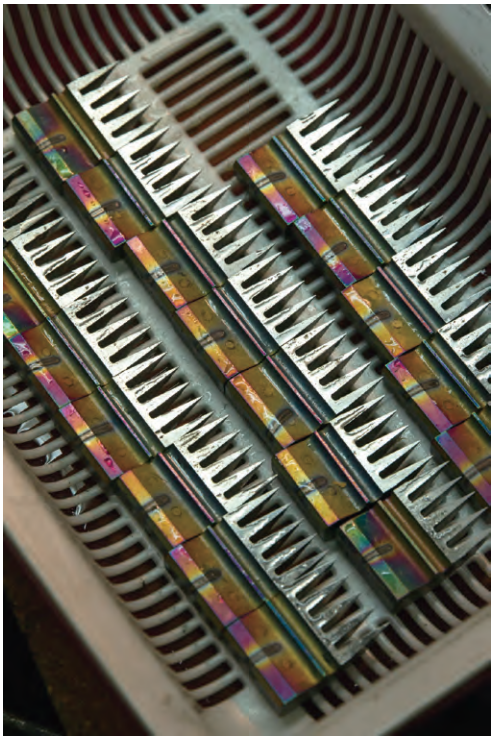
大川で培った職人技で、時代に求められる刃物を提供。——ヒカリハイテック 株式会社

ヒカリハイテック 株式会社
所在地／〒831-0006
福岡県大川市中古賀220-3
代表者／中谷 信弘
TEL0944-87-4028
FAX0944-87-4029
[URL]http://hikari-hamono.com/
[E-mail]hikarite@wing.ocn.ne.jp
創業／昭和48年
設立／平成元年
資本金／ 500万円
従業員／ 18名
営業時間／ 8:00～18:00
定休日／第2土曜、日祝日

創業時は地元・大川が中心でしたが、今では北は北海道から南は沖縄まで各地の企業と取引を行なっています。その中心となっているのが、超硬刃物の製造・販売および再生・研磨です。
「大川でモノ作りをしたから、全国に通じる技術を磨くことができました」と木村会長。

TOP VOICE
刃物はお客様によって求められるモノが違います。その要望にいかにして応えていくかが大事です。より高い技術で、多くのニーズに応えていきたいと考えています。今後はIC基盤などの加工にも対応できる刃物も作っていきたいと考えています。そのために職人目線であり続けたいと思います。（木村会長）

オリジナル刃物にもその技術が存分に生かされ、さまざまなお客様からの要望に応えています。オリジナルで作り上げるからこそ、お客様が使用されている機械に最適な刃物を作ることができます。建材、家具資材、船舶などさまざまな材料のカットに対応しています。
曲面用超硬質のチップを使用した刃物を製品化したのは国内で私たちが初めてだったと自負しています。これによりNC加工の生産性は飛躍しました。今後もこのような商品開発を行なうと同時に、お客様のニーズに合わせた刃物を提供していきたいと考えています。
ヒカリハイテックの根底には大川で育まれた技術があります。大川職人の技術で時代に求められる刃物を作り続けます。



機械と刃物の両面から切れない問題を解決します。

有限会社 福山機工／有限会社 ミヤマ

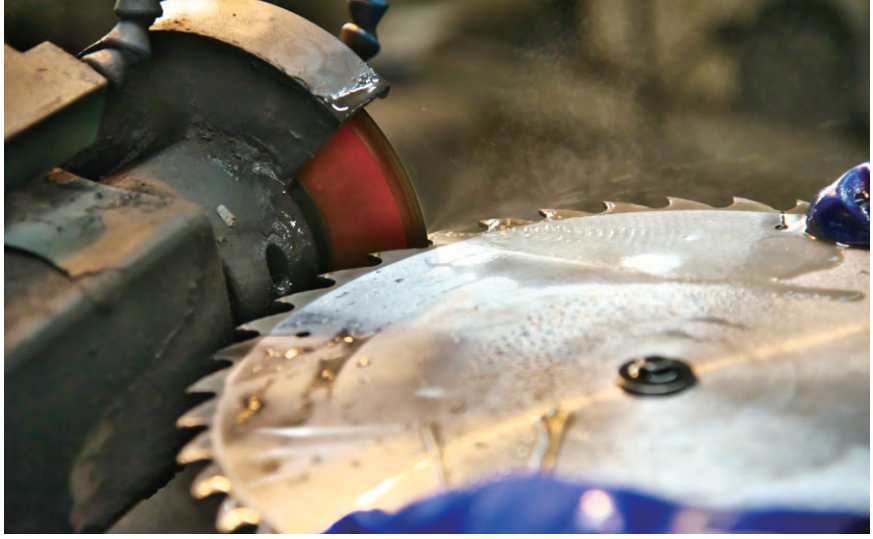
有限会社福山機工／有限会社ミヤマ
所在地／〒831-0021
福岡県大川市大橋263-1
代表者／福山 貴志
TEL0944-87-6347
FAX0944-87-6174
[E-mail]fukuyamakikou@triton.ocn.ne.jp
創業／昭和49年
設立／昭和50年（福山機工）、昭和55年（ミヤマ）
資本金／ 750万円
従業員／ 10名
営業時間／ 8:30～17:30
定休日／第2・4土曜、日祝日

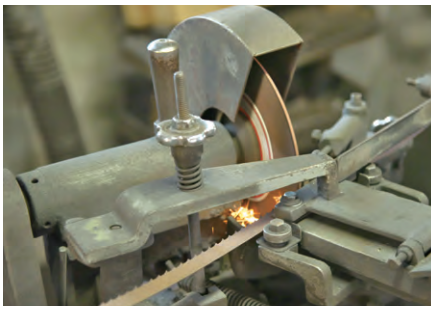
木工機械設備とその関連機器の製造および、新品・中古機械の販売、メンテナンスを行なう福山機工。そこから木工機械用刃物の販売と研磨に特化して派生したのがミヤマです。
この会社構成によって、機械から刃物までをトータルにサポートしています。お客様の要望に素早く対応したいとの考えから、基本の営業範囲を約1時間以内で駆けつけられるエリアに定めています。
「機械と刃物はどちらかに問題があると切れないんです。切れない原因を機械と刃物

の両面からアプローチして問題解決につなげるのが我が社の強みですね」と福山貴志代表取締役。機械から刃物の販売まですべてを手掛けているからこそできるメンテナンスです。
サービスマンは30年以上、木工用機械を扱ってきたベテラン揃い。その技術とノウハウはどこにも負けない自信があると言います。大川のメーカーでは30年ほど前から使われてきた機械も多く、ベテランサービスマンはお客様からの信頼も厚いのです。そのため、新規客が紹介で増えていくというのにもうなずけます。

TOP VOICE

これまで福山機工では木工用機械に特化していましたが、新たな部門への進出を考えています。ミヤマでは大川では数少ない平面研磨機を導入していますが、さらに設備を充実させようと考えています。そうすることで、より多くのお客様に満足していただけると思います。





豊富な在庫とグループの強みで、オフィスの困ったに対応します。——ユニオンパーツ 株式会社

ユニオンパーツ 株式会社
所在地／〒831-0005
福岡県大川市向島1540
代表者／津村 洋一郎
TEL0944-87-0765
FAX0944-87-1562
[URL]http://www2.fukuokanet.ne.jp/union/
[E-mail]union@po.fukuokanet.ne.jp
創業／昭和51年
設立／昭和51年
資本金／ 1,800万円
従業員／ 14名
営業時間／ 8:30～17:30
定休日／第2土曜、日祝日

家具関連資材の販売と卸を行ないつつ、刃物研磨も手掛けるユニオンパーツ。取引企業は大川を中心に佐賀、鳥栖、久留米、熊本、長崎など広域に渡る。
「より良い商品を、より安く、より速く、お客様に提供する」が社是。これを実現するために常時在庫を切らさない管理体制が整えられています。また、お客様とのコミュニケーションを密にして、つながりを強くしているのです。大川市内ではいち早くOA部門を立ち上げ、各メーカーや企業のIT導入に貢献してきました。商品を供給するだけでなく、オフィスのOA化に伴う設備や機器の導入提案、企画なども手掛けています。また、木工機械を販売する村上機械のグループ企業なので、木工機械に詳しいスタッフがいるのも同社のセールスポイントです。
よって、村上機械から木工機械を導入し、刃物研磨やOA関連機器などをユニオンパーツに発注するということも可能です。お客様にとっては、手間ひまをかけずにワンステップで必要な物を手に入れられというメリットがあります。

TOP VOICE
今後は木工関連企業だけでなく、他業種にも展開していきたいと考えています。OA機器をはじめ、販売管理ソフト、照明、さらには輸出用梱包木枠なども提供していきます。そうすることで、オフィスの「困った」に最適かつスピーディーにお応えしていきたいと思います。